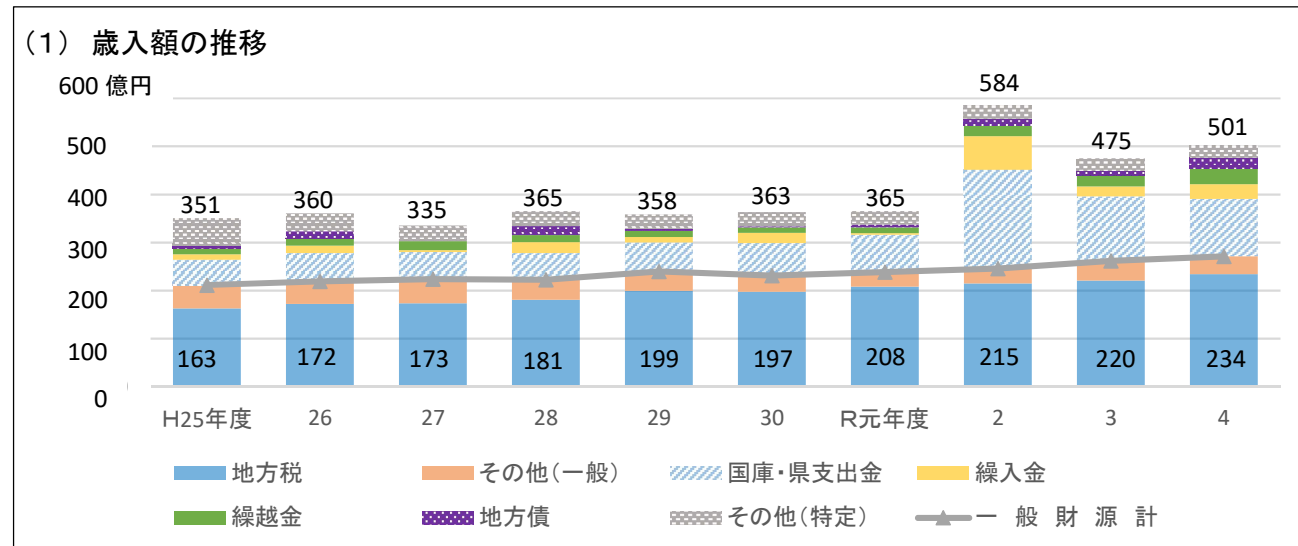


## 印西市の財政状況(普通会計決算)

## 4 比較表(概要・用語解説追記)



## 【概要】

## ■歳入総額(※棒グラフ上部分の数字)

平成25年度決算で351億円だったが、令和4年度決算では501億円となり、150億円、42.7%の増額となっている。

なお、令和2年度決算が584億円と突出しているのは、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の特別定額給付金(1人につき10万円給付)に係る交付金によるものである。

## ■地方税(※棒グラフ下部、青色部分の数字)

平成25年度決算で163億円だったが、令和4年度決算では234億円となり、71億円、43.6%の増額となっている。

## 【用語解説】

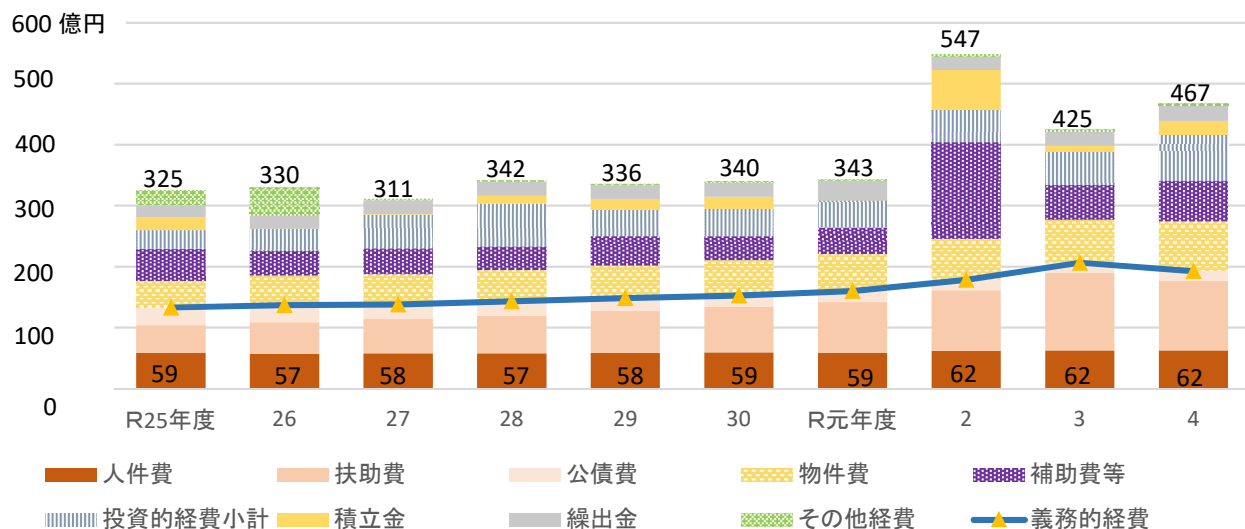
## ■歳入

地方公共団体の一会計年度における一切の収入をいう。

## ■地方税

地方団体が地域の実情に即した行政サービスを提供するために、必要な経費を賄うための税。住民税、事業税、固定資産税、地方消費税、自動車税等

## (2) 歳出額の推移



### 【概要】

#### ■歳出総額(※棒グラフ上部分の数字)

平成25年度決算で325億円だったが、令和4年度決算では467億円となり、142億円、43.7%の増額となっている。

なお、令和2年度の歳出総額が547億円と突出しているのは、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の特別定額給付金(1人につき10万円給付)によるものである。

#### ■人件費(※棒グラフ下部、赤色部分の数字)

平成25年度決算で59億円だったが、令和4年度決算では62億円となり、3億円、5.1%の増額となっている。

### 【用語解説】

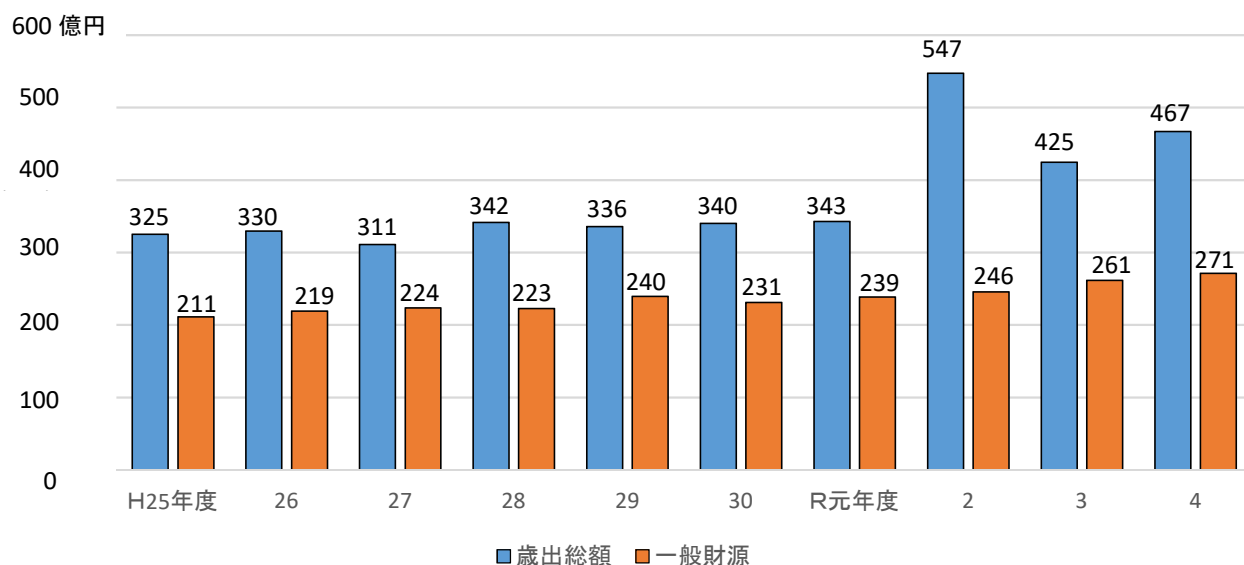
#### ■歳出

地方公共団体の一会計年度における一切の支出をいう。

#### ■人件費

職員の給与や議員、会計年度任用職員への報酬などの経費

### (3) 歳出総額と一般財源の比較



#### 【概要】

##### ■一般財源(※赤色の棒グラフ上部分の数字)

平成25年度決算で211億円だったが、令和4年度決算では271億円となり、60億円、28.4%の増額となっている。

##### ■歳出総額(※青色の棒グラフ上部分の数字)

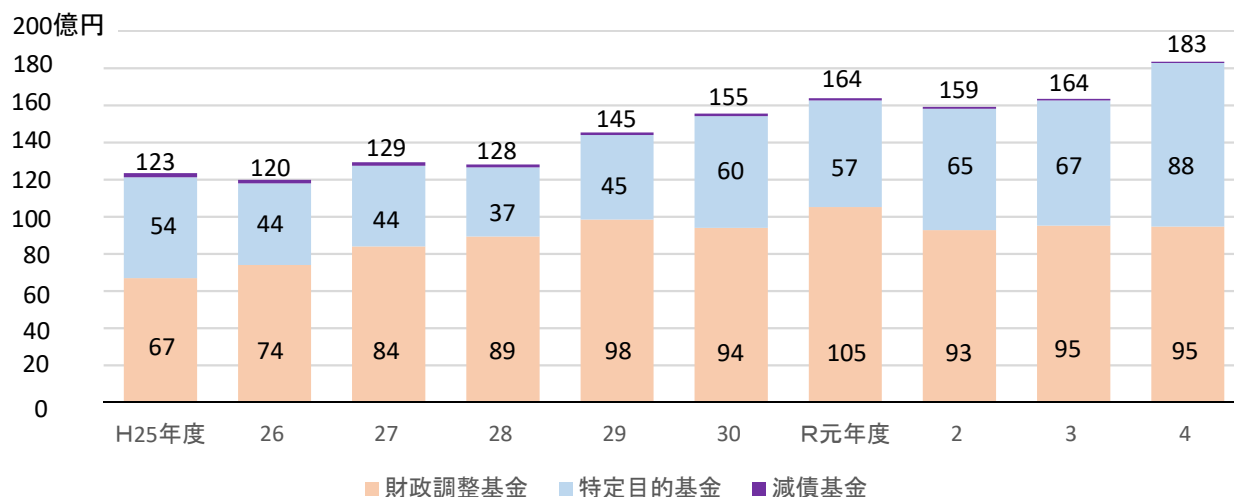
「(2)歳出額の推移」のとおり、上記期間で142億円増額しており、一般財源の増額以上に歳出総額が増額している状況である。

#### 【用語解説】

##### ■一般財源

地方税、地方譲与税等の交付金、地方交付税等の財源の使途が特定されておらず、どのような経費にも使用できる財源

#### (4) 積立金現在高



#### 【概要】

##### ■積立金現在高(棒グラフ上部分の数字)

平成25年度決算で123億円だったが、令和4年度決算では183億円となり、60億円、48.8%の増額となっている。

なお、近年は、公共施設等総合管理計画に基づき、今後、公共施設の改修等を実施するため、財政調整基金の積立を減らし、特定目的基金の積立を増やしている。

#### 【用語解説】

##### ■積立金現在高

財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の現在高を合算したもの。市の貯金額

##### ■財政調整基金

地方公共団体の年度間の財源の不均等を調整する基金

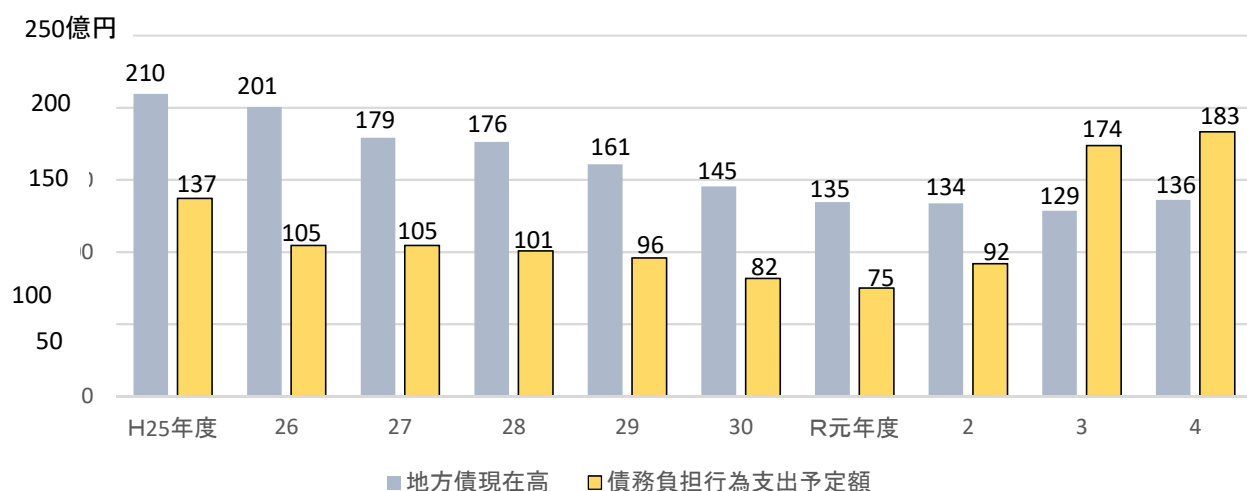
##### ■特定目的基金

特定の目的のために資金を積み立てる目的で設置した基金

##### ■減災基金

地方債の償還を計画的に行うために資金を積み立てる目的で設置した基金

(5) 地方債残高・債務負担行為支出予定額



【概要】

■地方債現在高(グレーの棒グラフ)

平成25年度決算で約210億円だったが、令和4年度決算では136億円となり、74億円、35.2%の減額となった(各年度の償還額以上に借入れをしないよう、できる限り借入額を抑制してきたため)。

■債務負担行為予定額(黄色の棒グラフ)

平成25年度決算では137億円だったが、令和4年度決算では183億円となり、46億円、33.6%増額となった。なお、令和元年度まで減少傾向にあったが、令和3年度から急激に増えているのは、(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業等の債務負担行為設定によるものである。

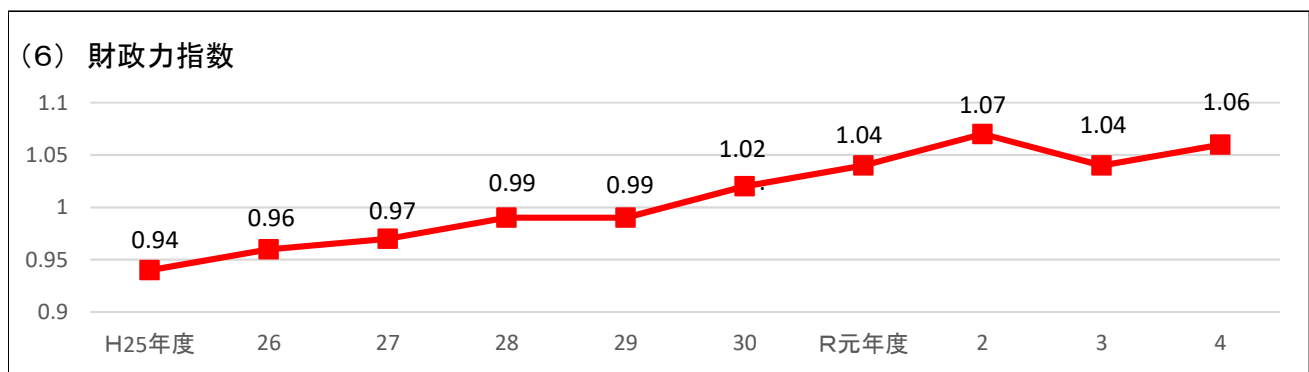
【用語解説】

■地方債現在高

地方公共団体の借金の額

■債務負担行為支出予定額

債務負担行為を設定し、既に支出することが予定されている額



## 【概要】

### ■財政力指数

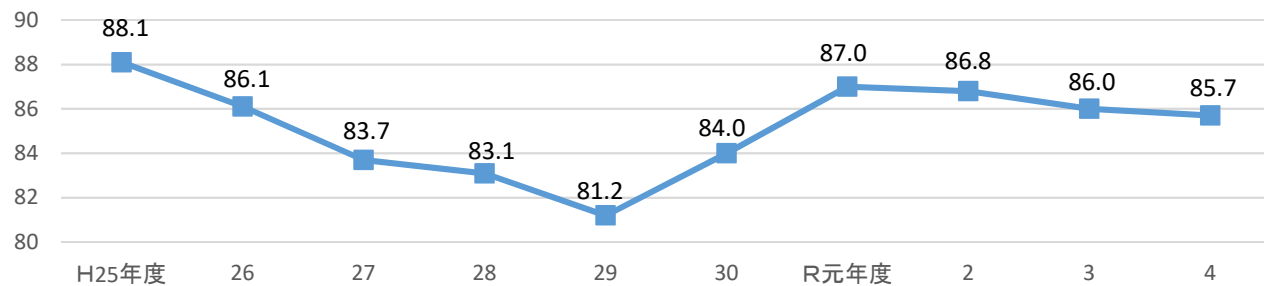
平成25年度決算で0.94だった指数は、平成30年度決算で1を超え1.02となり、令和4年度決算では1.06となった。

## 【用語解説】

### ■財政力指数

地方公共団体の財政力を表す指数で、財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいこととなり、財源に余裕があるということになる。

### (7) 経常収支比率



#### 【概要】

##### ■経常収支比率

平成25年度決算で88.1だった比率は、平成29年まで下がり続け81.2となった。その後、令和元年度に87.0まで上がったが、令和4年度には85.7となっており、税収の伸びと共に近年は下降傾向にある。

#### 【用語解説】

##### ■経常収支比率

経常的経費に一般財源等の収入をどの程度充当しているかを示す指標で、比率が高いほど、経常的経費に一般財源等を多く充当しているということになる。よって、当該比率が高いということは、経常的経費以外の歳出に一般財源を充てられていない状況であるため、財政構造の硬直化が進んでいる目安となる。

### (8) 本市の財政状況の総括

歳入、歳出ともに増額傾向にある。また、地方税等の一般財源も増額しており、これが、財政力指数や経常収支比率に反映されているものと推測される。併せて、積立金現在高を増額するとともに、地方債残高を減らしてきており、実直な財政運営に努めているが、新施設の整備や今後の公共施設改修、扶助費の増加などの将来債務も想定され、引き続き健全な財政運営が求められている。